

意見交換会実施報告書

開催日時	平成24年11月13日 午後6時30分～午後8時35分	
開催場所	八坂支所3階会議室	
出席議員	大和幸久（責任者、司会） 松島吉子 堀 堅一 神社正幸（記録者） 高橋 正（報告者） 中牧盛登（報告者）	
参加市民数	22人	
議会報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度決算について ・昨年いただいたご意見ご要望の検討状況について ・議員定数等について 	
意見交換内容 (要望提言等)	質問・要望・意見等	当日の回答
	<p>1</p> <p>J A大北などがSPF豚の堆肥生産施設を八坂三原地区へ建設する計画については、臭気による環境破壊、水の汚染など住民としては絶対反対である。議会としても地元の意向を汲んで対応していただきたい。</p>	<p>公害が発生したら稼働をストップする念書を取るべきである。</p> <p>他県で同施設の視察をしたが、多くの問題点がある。農協の計画も聞いて判断し、反対ならば態度を明確にすべきである。</p> <p>早急に反対の陳情をしていただきたい。</p> <p>12月定例議会に陳情を挙げて欲しい。</p> <p>白馬で処理すべきである。</p> <p>現地を見てきたが、反対である。</p>
	<p>2</p> <p>明野の市住の浄化槽料金について、浄化槽利用者の責任で集金し、必要な支払いをする方法であるが、滞納者がいれば、他の利用者がその分を負担することとなり、関係住民は困っている。行政に言ってもなかなか解決できない。早期解決に向けて議会からも力を貸してほしい。</p>	<p>1軒1軒の集金体制にすべきである。</p> <p>集金方法を模索したい。</p> <p>関係住民が料金を供託して解決をみる方法もある。</p> <p>戸別の支払い体制に出来るか調べたい。</p> <p>市に話をしてみる。</p> <p>同じ事例が他にもあり、行政の対応で解決したので再度申し出て欲しい。</p> <p>※後日、担当部署に根本的な解決を検討してほしい旨、要望した。</p>

意見交換内容 (要望提言等)	3	八坂小学校は来年度入学児童減少で教員数が2名減るとのことだが、現状を維持してもらいたい。特に音楽教師を確保してほしい。	八坂地域全体の問題であり早急に教育長との話し合いを持って欲しい。地域崩壊につながる問題であり、市全体の問題である。
			現状を調べ協力したい。議会全体の問題にしたい。
			重大な問題であり、定住促進、雇用問題を含め考えていきたい。
			総務文教委員会で議論を深めたい。
			全国の前例などを調べて解決策をはかっていきたい。
			地域作りは人づくりである。全国には良い成功例もあり八坂住民の力を信じたい。
	4	八坂の産業が縮小し雇用も出来ない状態である。地域の公共事業も少ないので何とかして欲しい。	八坂地区の特徴を活かした産業起こしや里山の恩恵を活かした事業展開などを考えたい。
			護岸工事などで仕事を作っていきたい。八坂の宝を見直すべきである。
			地域にオペレーターや職人もいなくなり、建設機械もなくなった。地域の安全の為にこれらの産業を守るべきである。
	5	合併前は役場を中心にやってきたが、合併後、阻害感を感じている。市は八坂地域に目を向けてくれているのか疑問に思う。また市自体の方向性が見えないが、大町市をどうすればいいのか議員の考えを聞きたい。	大町は教育に努力すべきである。
			八坂のよき安らぎの地を守り安心して子育てのできる町にしたい。
			積み重ねのできる行政施策が重要である。
一次産業の衰退を懸念する。国の政治を変えなくては地方の生きる道はない。限られた予算をいい方向に使えるようにしたい。			
			八坂は絆の強い地区であると思う。決して見捨ててはいない。市の総合計画は議決したものではないが市長のマニフェストであり、それらについて予算を含め厳しくて検証していく。
			価値観を見直してスローライフにシフトすべきであり、そのような施策の転換が必要である。
その他 特記事項	・質問や要望等に対して、議員個々の考えを求められる形で意見交換を行った。		

平成24年12月21日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者

大和 幸久 ㊞